

中経論壇

経営支援NPOクラブ理事
萩原 一夫



人心一新を掲げた内閣改造で支持率は若干持ち直しているが、新鮮さは感じられない。その理由の一つは恐らく大巨20人中13人が世襲政治家であるからかも知れない。自民党の政治家は官僚OB、一部タレントやスポーツ選手等知名人を除いては、祖父や父親が政治家であり、その地盤を引き継いできた「家業としての政治家」が多いと思う。これでは庶民感覚を持って政治を行うことは期待出来ないの

ではないか。かつて田中角栄氏が首相に就任した時は同じ自民党でも自分の実力で立ち上がったリーダーとして国民の期待が盛り上がったのを思い出した。

ドイツの戦後の歩みに興味があり、8人の連邦首相の生い立ちを調べてみたが、誰一人世襲の政治家、資産家の子息はおらず、むしろほぼ全員が比較的豊かではない家庭の出身であった。それぞれ逆境をはねのけながら指導者になった人たちであった。例えば、4人目のブランドトは私生児として生まれ、ナチスに追われて北欧に亡命した経験を持

「家業化」した日本の政治

日独 戦後政治の質の差

つ。政治家になって、革を實行し、今日の経済繁栄戦後、冷戦の象徴とつなげた。ドイツの戦後社もいえるベルリンの市長として対立の最前線でも東西の意思疎通に努力した。首相

就任後は緊張緩和外交を進め20年後のドイツ再統一への道を築いた。こうした功績により、ノーベル平和賞を受賞している。

前首相シュレーダーの場合、彼の父は第2次大戦で戦死、母子家庭で母は掃除婦、彼自身は中学校卒業後、店員見習い等をしながら奨学金で大学を卒業したという経歴である。首相就任後は強い信念の下、「アジエンダ2010」という改

革を實行し、今日の経済繁栄につなげた。ドイツの戦後社会が、能力次第で国の指導者になれる機会が確保された社会であったと思う。さらに現在のメルケル首相は言論が統制された社会主義の東ドイツで育った。1990年の再統一後政治活動を始め、最大政党の党首からドイツ初めての女性首相になった。メルケル政権が4期目(最長16年となる)も確実と

なった背景には、今日まで一度も汚職やウンが浮上した事がなく、首相個人の清廉さへの国民の信頼がある。

欧州のリーダーとなったドイツとGDP世界3位となった日本は、敗戦国でありながら経済復興を成し遂げたことでは共通だが、外交的影響力、財政の黒字化、エネルギー政策(脱原発の決断)などで、戦後政治の質の差が大きく出ているように思う。その要因は、世襲議員を生み出す日本の政治風土にあるのではないか。